夕刊 臺灣新報 二月十三日
（第二種郵便物認可）（明治卅一年九月五日第三種郵便物認可）昭和十七年二月十四日（土曜日）
第一万五千六十五號 臺灣日日新報社

陸鷲新嘉坡を大爆撃

一萬噸級（兵員滿載）一隻撃沈

退避準備敵艦船を猛襲

【東京發同盟至急報】大本營發表（十三日午後一時）マレー方面帝國陸軍航空部隊は前日に引續き昨十二日その全力を以てシンガポール島空港、貯水池周邊地區の大殲滅戰に協力すると共に大擧して退避準備中の敵艦船群を襲撃し一萬噸級（兵員滿載）一隻撃沈、三千噸級一隻炎上、七千噸級乃至一千噸級九隻に多數の命中彈を與へたり、わが方の損害なし

嘗てなき敵頑強抵抗

悽絶極まる死闘決戰

【シンガポール島十三日發同盟】十三日午前シンガポール市包圍戰は依然市の西北郊外蔴馬場全面を中心とし彼我の間に壯烈極まる肉彈敵戰が繰返されてゐる、わが軍は今朝來一寸刻みに着々包圍網を壓縮しつつあるが敵は英帝國の面目にかけて死守する決心と見え過去のマレー戰六十餘日に嘗て見なかつた頑强且つ執拗極まる抵抗を續け、敵要塞砲も十二日に引續き全能力を擧げて反撃し來り日下悽慘目を敵はしめる死鬪決戰が行はれつつある

包圍の鐵環逐次壓縮

【シンガポール十二日發同盟】シンガポール島の守備軍は十二日夜に入るや敵に三方面より攻撃を加へられつゝあるが、夜を日についで突撃を敢行されに敵を各所に於て撃退しつゝあり、殊に十二日夜半から十三日朝にかけて敵は數次に亘り逆上陸を企圖したが、いづれも我が軍の爲に撃退された、また同日リツソント島方面にも敵が上陸を企圖したが、これまた我が軍の爲に撃退された

天皇陛下に親電

獨總統祝意を表明

【ベルリン十二日發同盟】DNB通信特派員による最近のシンガポール攻略のかがやかしい成果に對し陛下に左の如き祝電を奉り、謹んで天皇陛下に御報告を願ひたい

【ベルリン十二日發同盟】ヒットラー總統は十二日シンガポール攻略に最後の止めを刺すべく敵に降伏を勸告したが、敵はこれを拒否したので、十二日夜半から十三日にかけて敵に對し最後的攻撃を開始した、これに對し英國ブロードキャスチング會社は十三日午前一時の放送で「シンガポール島の戰況は重大な段階に入つた、日本軍は島の北部に於ける英軍の抵抗を壓倒しつゝあり、シンガポール市の西北郊外蔴馬場の飛行場は日本軍の手に陷ちた」と報じてゐる

猛烈なる砲撃戰

新嘉坡北部一帶を震撼

【シンガポール十二日發同盟】マレーの山野を驀り攻めてここに大有樂島、まさに敵が城下の誓ひを立てゝ最後の一兵まで死守すると豪語してゐた新嘉坡要塞の心臓部シンガポール市の攻略戰は十二日夜半から十三日朝にかけて遂に最後の段階に入つた、敵は殘存軍隊の總力を擧げて最後の死に花を咲かせようとする英軍との間にシンガポール北部を中心にその全力を傾けた血みどろの死闘が繰り擴げられ、敵は要所要所に陣地を構へ頑強な抵抗を續けてゐるが、我が軍は今朝來一寸刻みに着々敵陣を壓縮しつゝあり、十二日夜半から十三日朝にかけて敵は英帝國の面目にかけて死守する決心と見え過去のマレー戰六十餘日に嘗て見なかつた頑强且つ執拗極まる抵抗を續け、敵要塞砲も十二日に引續き全能力を擧げて反撃し來り日下悽慘目を敵はしめる死鬪決戰が行はれつつある

【ロンドン十二日發同盟】十二日夜のシンガポール市は十一日朝以來十二ケ所から火を發し、黒煙は凄まじくそれを蔽ひ、物凄い大爆發をつゞけてゐるそのさまは實に凄絶を極めてゐる、バタヴィア放送局發表の通り

シンガポールから既に過去二十四時間以來なんらの脱出も入つて來ない、今朝十二日朝のシンガポール被爆地區の模様は明瞭にはつきり確認出來なかつたが、今やシンガポール島は完全に世界から隔絶され、日本軍のシンガポール市内突入したと傳へてゐるがこれもまだ如何とも判つてゐない、市民はいづれも英軍がまだ降參を矢つて放送したものと信じてゐる、そしてシンガポール島の如き小島に不落の防衛線を構築する事の不可能を痛感してゐる、日本軍がシンガポール島に一歩を踏み込めば即座にこれを撃退しない限り到底その地歩を固めて行くことは出來ないであらう、英軍は有力な武器を破壊した後おそらくシンガポール島自體の殘餘に入つてゐるものと思はれる

空中戰に腕の冴え

海鷲長驅バタビヤ初空襲

【東京發同盟】○○高地にて非戰闘部隊海軍報道部長、わが海軍航空部隊は去月五日後續部隊の着陸するや直ちに敵の重要なる航空基地バタビヤを襲撃初空襲し越えて七日、同地空襲の第二回目を敢行し、更に十日、第三回目の空襲を決行した、この日空襲部隊の第一波はバタビヤ飛行場の滑走路上に於て敵戰闘機十數機を撃墜破し、地上にあつた大型爆撃機數機を炎上せしめ、第二波は飛行場の格納庫、修理工場、發電所等を爆撃、第三波は

けふはやつつけるぞ"
敵砲火陣漸く衰ふ
英國人の厄日・皇軍勇士の士氣益々軒昂

今や最後の傾斜と敵力の殲滅が見えて、敵は敗勢ひに面に進んでバタアンの要塞に向ふ、この頃村には敵前日本人の逃亡者が簡単に捕へられたが、皆日本軍の進撃を身を以て感謝してゐたものである、住民も来た皇軍勇士やさしい姿で入つて来たわれ〳〵の姿を見ると、皆始めに打たれてゐるやうであつた、部落には逃げ遅れて見つけた住民も眞意を諒解して喜び上つて「マブ・ハイ、マブ・イ」を叫びながら進つて来る、殊に日本にバタンガスを出現、リパを經てタアル湖畔バレンに到着、この土地は特に日本人の逃亡者が多くて敵前に敵前人の出入を禁じてゐる所である、リパの住民は殊にバタアル湖を渡つて敵ルスマンリバに逃亡してゐる、われわれはこの美しい湖水をバンガ（船）に乗つて同地に向ふ、その湖水中にあるバレン山は世界最小の火山として有名、この火山を有に敵方に於ても名のあるタガイタの盆山を眺めながらネンネン（魚の名）の煮た湯を飲つてルマンリの部落による

物凄い大家族

皇軍の威容

勇士の熱情に信頼
比島の避難民續々歸來

本の大きな家からは黒い煙がかもつて燃えて居る家にくつろぎ昔び加れてゐる、美しいプラットの山路を通つてタウアンの町に出る、全市に敵軍が居ずらんだ様に靜かだ、この町の住民は殆んど全部が避難して居るらしい、ゲリラ隊の一隊が町の入口に歩哨に立つてゐる、この町にも敵の殘兵が少くなつて來る、バタンガス地區に入ると續々と避難民がどし〳〵と歸つて來る、この町の住民は殆んど全部が歸つて來てゐる、各商店も開いてゐる、各家の門口には日の丸の旗が掲げられてゐる

臺灣日日新報　昭和十七年十月十四日（土曜日）　（第一種郵便物認可）　昭和十七年十月九日午前十時印刷　昭和十七年十月十日午前六時發行　（第一種）

海鷲シ港周邊を索敵
一萬噸級商船撃沈八
艦艇虎視眈々大殲滅戰

【○○通信十三日發同盟】我が海の荒鷲は敵最後のシンガポール脱出線に躍起して連日連夜一番の上空を掩護し敵機撃墜命からがら脱出を企てる敵艦船を發見しこれに猛攻を加へ一萬噸級商船八隻、同七千噸級、同五千噸級各一隻合計十隻の大船團の他の船舶多數を撃沈炎上せしめ一萬噸級商船一隻を大破せしめた、一方我が航空部隊は二兵たりとも逃すじと同胞の仇を虎視眈々と窺せてここに敵最後の企圖は全く潰えダンケルクを遙かに凌ぐ大殲滅戰はいよいよ火の如くである

三日　一萬噸級敵船をシ島南方洋上で爆撃、同船は大火災を生じ坐礁三日間燃え續けて遂に沈没

五日　シ港内を奇襲し敵一萬噸級商船六隻を爆撃し大火災を生ぜしめいづれも航行不能に陷る

八日　シ島南方洋上で一萬噸級商船一隻を撃沈

十一日　バンカ海峽において七千噸級商船一隻を發見これに巨彈を浴せ大火災を生ぜしめた

整理一發を浴びせ大火災を生ぜしめた

猛火線を張りつつ
敵最後の逃亡開始

【ワンガポール十三日發同盟】敵はシンガポール島外に二十三日發同盟】敵はシンガポール島外に二十三日發同盟】敵はシンガポール島外に二

全國防空強化促進
隣組の實踐的訓練要望
一部有識階級の非協力態度是正

第七十九議會の成果
船舶増強策確立へ
〝戰時食糧〟自給に萬全

南方問題の焦點
大野海軍軍政顧問の抱負

バンカー補給と重點
一般民需用炭と石炭會社の方針

臺北物價は微騰
—總督府財務局の調査—（一月中）

酒類配給地區制
谷口大藏次官考慮を言明

本島經濟界順調
昨年十二月の手形交換高

臺乾鰯の公價
農林者で改訂

商況（十二日）

高砂麥酒の擴張工事進む

〝帝石〟副總裁二名制
—經營の立石と技術の大村—

引揚げ同胞の調査打切り
積極職業指導へ

茶栽培を
甘藷栽培へ轉換

新竹州農會豫算
總額三千百六十六萬圓

太平洋印度洋の分斷大作戰
隣印の崩潰遠洲の孤立必然

下痢に
即効を誇るワカ末は
胃腸ときうつてもられない伸となりました
腸管を薬石に
強力殺菌整腸劑
ワカ末

第二十回 支那事変生存者行賞
殊勲甲に輝く大和田曹長

スラバヤ上空奮戦記

荒鷲群の亂舞時餘
敵機六十一を葬る
米英蘭空軍一瞬に潰滅

沖天六粁に達した
燃る新嘉坡の黒煙

願書の整備も終り
山の青年志願續出

受付け締切日迫る
臺北憲兵分隊 十六日第一次身體檢査

勇士の銃劍敵陣に肉薄
戰ひ次第に市街戰の樣相呈す

新竹 愛婦 全員の「竹筒獻金」
陸海軍へ二千圓宛を獻納

遮光動作は略迅速
今次防空訓練の成果良好

寒風吹荒ぶ中に日夜我國
土を護る防空陣の勞苦

世紀の戰捷記念日
當局の親心，お祭騒ぎにならぬ樣

天津問題を續る
日英會談の立役者

ルジバルア
合商品藥內之山

各地線、合戰

赫々の戰果に感激
飛行機獻納資金寄附

【嘉義郡新巷電話】新巷庄の有志○○氏は愛國婦人會員が

ところ、早速庄の有志○○氏を訪ねたから、新巷庄内部民五千五百名から二、三百二千七百圓を十二日部へ寄附を依頼して來た、部では十二日部へ寄附を依頼して來た、部ではその誠意に感激して直ちに手續をとつた

遂に一萬名突破
低調だつた高雄州の志願

【高雄電話】高雄州下の志願兵應募者は、十二日午前九時の締切まで一萬名を突破した、就中州都の高雄市は遂に目標をしぐく突破に二千五百三十五名の志願者を出し、更に十三日午前九時までに二百餘名の志願者があつた、尚十三日は高雄市内の志願兵應募者は二千五百六十五名、高雄市五百十二名、岡山郡三百九十名となつてゐる、高雄市は一般に志願者が少なく、一方高雄州下の志願者は、農村部に多く、殊に屏東郡の如きは、人口僅か十萬餘に對して志願者は九百二十五名の多數に上つてゐる、尚